

令和6年6月19日

学長再任審査の結果について

国立大学法人宇都宮大学学長選考・監察会議（以下「学長選考・監察会議」という。）は、池田宰学長の任期が、令和7年3月31日付けで満了することに伴い、国立大学法人宇都宮大学学長選考規程（以下「学長選考規程」という。）第14条第1項に基づき、学長の再任審査を行い、その結果、池田宰学長の再任を可とすることを決定いたしました。

また、学長選考規程第5条第4号に基づき、下記のとおり審査結果、審査理由及び審査過程について公表いたします。

国立大学法人宇都宮大学学長選考・監察会議

記

1. 学長候補者氏名 池田 宰（いけだ つかさ）
2. 任 期 令和7年4月1日～令和9年3月31日
3. 審 査 結 果 再任を可とする

4. 再任を可とした理由

令和6年6月19日（水）開催の学長選考・監察会議において、学長選考規程第14条第3項の規定に基づき、業績調書、宇都宮大学の将来像、及び所信等関係資料の審査並びに面談を実施した結果、再任を可とする決定をした。

池田宰学長は、令和3年4月1日に学長に就任以来、地域とともに学生の未来を育て、学生とともに地域の未来を育てるというスローガンのもと、常に「共創」の理念と「複眼」の視点を持ち、学長としての業績を重ねてきた。

学内構成員だけでなく、地域社会、産業界をはじめとする様々なステーク

ホルダーとの協力関係と対話を重視し、宇都宮大学のビジョンを共有し、リーダーシップを十分に発揮しながら、学生支援に注力するとともに、地域社会との連携を強化し、様々な施策を着実に実行してきた。とりわけ、データサイエンス経営学部の設置については、宇都宮大学の教育と地域貢献の新たなステップとなる重要な取り組みであり、今後の成果が期待される。

これらを踏まえ、学長選考・監察会議は、池田宰学長が学長としての資質・能力を十分に備え、第4期中期目標期間において宇都宮大学を発展させる強い意志を有する適任者であると判断し、再任を可とする決定をした。

5. 審 査 過 程

(1) 令和6年2月6日(火)

令和5年度第3回学長選考・監察会議において、次のことを実施した。
・次期学長選考に係るスケジュールの確認

(2) 令和6年2月9日(金)

学長選考・監察会議から学長に、次のことを依頼した。
・学長再任意思確認書の提出

(3) 令和6年3月1日(金)

学長選考・監察会議議長が学長から、次のものを受理した。
・再任の意思がある旨の確認書

(4) 令和6年3月21日(木)

令和5年度第4回学長選考・監察会議において、次のことを実施した。
・再任審査に係るスケジュールの確認

(5) 令和6年5月10日(金)

令和6年度第1回学長選考・監察会議において、次のことを実施した。
・再任審査に係るスケジュールの確認

(6) 令和6年5月20日(月)

学長選考・監察会議議長が学長から、次のものを受理した。
・学長の職務に係る業績調書
・略歴等
・宇都宮大学の将来像、具体的な取り組み等についての所信

(7) 令和6年6月19日(水)

令和6年度第2回学長選考・監察会議において、次のことを実施した。

- ・再任審査として、学長選考・監察会議委員と学長との面談及び
所信表明書等の審査
- ・再任を可とし、学長候補者を決定

以上